

日時: 2011年10月19日(水)18:00~18:35

場所: 奥村記念館(奈良市春日野町4番地) 2階会議室

座長: 萩原(大林組)

書記: 日下(住友電工)

出席者: 19名(順不同・敬称略)

角(日本建築総合試験所)、川口(船井電機)、萩原(大林組)、前田(富士火災)、柳父(元大阪ガス)、田中(グリコ栄養食品)、西濱(西濱防災ネット技術)、藤村(竹中工務店)、上田(情報システム監査)、梅田(経営コンサル自営)、小友(富士通エフサス)、佐竹(アルファネットワーク)、佐原(鈴与)、鶴谷(奥村組)、能任(富士通エフサス)、速水(大阪ターミナルビル)、増穂(NECシステムテクノロジー)、鷺山(パナソニック)、日下(住友電工)

## 議題

### (1)今後の会合等のテーマ、課題について

主な発言は以下のとおり。

- ・災害規模の面で、東日本大震災と阪神・淡路大震災の差は大きい。現在、復興が遅れているが、官民連携にも課題が多い。またBCP/BCMについて見直すポイントは整理すべき。東海・東南海・南海の連動地震などに備えた対応計画など民間の立場で検討・提案すべき。
- ・いわゆる「想定」の位置づけだが、過大評価していないか。設計上想定は必要だが、想定を上げて何でもカバーしようとするのは現実的でない。今回被災地では津波で流される想定はしていなかった。
- ・BCPが役立った事例もあるので確認しておくべきでは(福島県国見町、オイルプラントナトリなど)。
- ・東日本大震災では壊滅的でない現象で予想外のものが多数あった(都庁や大阪WTCビルの地震被害など)。これらも確認しておく必要あり。建物への立ち入りを左右する応急危険度判定法なども見直す余地あり。
- ・震災の教訓についてまとめたものが少ない印象。安否確認その他につき、まとめておくのもいいのでは？

時間切れのため、本件はMLで議論を続けていくこととした。

### (2)その他

- ・和歌山セミナー(11/1、15:00 ホテルアパローム紀の国)のご紹介。和歌山県内企業対象だが、まだ席があるので関心ある方はお申し込み下さい。
- ・次回11月度支部会合の提案(配付資料に基づき速水氏説明)につき了承。詳細は末尾参照。
- ・東日本大震災復興支援の事例につき紹介(萩原)。
- ・12月度の支部会合(忘年会)は12/16(金)とすることに決定。詳細は藤村氏より連絡ある予定。

### <次回会合の予定>

日時: 2011年11月16日(水)18:00~20:30

18:00~18:30 支部会

18:30~19:20 勉強会(OSC概要説明など)

19:30~20:30 OSC現場見学

20:30~ 懇親会(移動時間節約のため、OSCサウスゲートビル内を予定)

場所: 大阪ターミナルビル(株)会議室(大阪駅前第1ビル10階)

座長・書記: 追って連絡

以上